

特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟

2020年度 第4回理事会

議事録

日 時：2020年12月19日（土）17：00～19：00

場 所：リモート開催

出席者：椎名茂、古市隆一、保科実、鈴木久三郎、隅野礼雄、大日方邦子、夏目堅司、二星謙一、渡辺孝次、荒井秀樹、安藤佳代子、山口聖子、内海けい、狩野亮、小林清美、桜本利幸、東海林志朗、井上真司、高浜成行、田原麗衣、小林（井口）深雪、（21名）

委任出席者：岩間秀子、新田佳浩、辻村和見、鹿島（吉龍）忍（4名）

欠席者：中村勝彦、中村実彦（2名）

出席監事：宮田隆司（1名）

欠席監事：大内悟（1名）

椎名会長より定足数の確認がなされ、27名中出席25名（委任状出席を含め）であり、定足数を満たし本会は成立するとの発言がなされた。議事録署名人には、古市副会長、隅野理事が指名され了承された。書記には、事務局の石丸が指名された。

椎名会長より次第の確認がなされ、定款の則り議長は会長が行うことが確認され会議が開始された。

【審議事項】

（1） 諸謝金・旅費規程の改定について

石丸：諸謝金・旅費規程にリモート会議に参加した役員に対して通信費を支給出来るように変更したい。1日につき1,000円の支給で源泉徴収の対象となるため、事務局の手間を考え、10回を超えた時点もしくは6月30日で請求出来ることを内規に明示した。実施は8月1日に遡り運用します。

議長：諸謝金・旅費規程の改定について承認を求めたところ全員一致で承認された。

（2） 令和3年度のくじ基金助成事業の予算について

安藤：令和3年度のくじ助成の申請締切りが、1月16日です。資料に記載した3事業について申請する予定にしています。

優先順位 1. 北海道障がい者スキー普及講習会（予算：1,483,500円）

優先順位 2. 障害者クロスカントリースキー普及講習会（予算：1,722,600円）

優先順位 3. 日本IDアルペンスキー普及講習会（予算：2,196,000円）

議長：令和3年度のくじ助成申請事業について承認を求めたところ全員一致で承認された。

(3) 令和3年度の基金助成対象事業について

安藤：令和3年度の基金対象助成事業について普及委員会として計画している事業候補(下記の4事業)について資料に沿って説明が行われた。まだ、応募に関する要項が示されていないため事業候補として審議してほしい。

1. 全国障がい者スノーボード選手権大会&サポーターズカップ
2. 日本 ID アルペンスキー選手権大会
3. 全日本チェアスキーチャンピオンシップ
4. 全日本障害者クロスカントリースキー競技大会

保科：大会運営委員会でこれから計画する国際大会との兼ね合いで基金助成に申請する事業を決めることとなります。

議長：令和3年度の基金助成対象事業として上記4事業を候補にすることについて承認を求めたところ全員一致で承認された。

(4) 法人カードの利用者追加について

石丸：パラアルペンチームから夏目委員長に法人カードを発行するよう申請が事務局に届いています。

夏目：チームでは石井ヘッドコーチと伴コーチに発行されていますが、次世代チームを担当するにあたりリフト券代金の立替等を行っているため、法人カードの使用を承認してもらいたい。

議長：夏目アルペン委員長に法人カードを発行することについて承認を求めたところ全員一致で承認された。

【報告事項】

(1) 連盟の新体制について

石丸：各委員長から委員の選出があり、取りまとめた結果を資料の新体制一覧にしました。

保科：総務委員会では副委員長に公益化とウエアの担当になってもらいました。

鈴木：法務・倫理委員会には、女性委員として鹿島理事を委員に選出しました。

安藤：すでに普及委員会で委員として活動してもらっていた方々を委員に選出しました。

保科：大会運営委員会では、WC 国内大会とアジアカップ等のポイントレースの運営を行います。強化本部と普及本部と連携して進めます。

山口：クラシフィケーション委員会から医学・クラシフィケーション委員会に名称を変更しました。副委員長には小林ドクター、清水ドクターを配置しました。

大日方：選手委員会では JPC アスリート委員の活動もフォローしてほしい。

荒井：IDの選手の意見吸収も出来るようにしてほしい。

椎名：この新しい体制で連盟の運営をよろしくお願いいたします。各委員会には中長期計画のバージョンアップを追ってお願いすることとなります。

(2) 今シーズンの強化5チームと普及事業の事業見直しについて

大日方：世界選手権、北京プレ大会が延期・中止になりました。IDではVIRTUS世界選手権やイタリアの世界大会も中止になりました。各チームから具体的な今後の計画を報告してください。

夏目：パラアルペンチームは1月にオーストリア・スイスでWC参戦予定にしています。

1月4日に出発して1月30日帰国の予定です。(後発組は1月15日出発)ポイントを持っている選手の一部は同時期に国内で調整の予定です。3月にロシアのサハリンでWC開催が予定されていますが、参戦するかは検討中です。同時期に国内でポイントレースが出来るように計画しています。

東海林：IDアルペンチームは、国際大会が中止になったのでIDアルペンスキー選手権大会の1大会のみで、後は国内で合宿を行います。

渡辺：パラノルディックチームは当初の計画では海外では5大会に参戦の予定でした。ポイントを取得することを目的としていたWC大会や旭川の大会も中止になり、国内での合宿を中心にした活動に切替えました。札幌の国内大会でポイントを得られるように調整中です。中欧でWCクラスの大会が行われるのであれば参戦を検討しています。

IDノルディックチームは、旭川大会が中止になり札幌大会に参加出来るように調整しています。国内での合宿を充実させるように計画しています。

二星：WCのスケジュールに変更がありました。フィンランドが2/12~2/14、スペインが2/22~2/24になりました。白馬楯池で1/7~1/17に国内合宿を行います。海外遠征後は白馬鹿島槍で合宿を予定しています。

(3) 国際大会として開催予定のアルペン・ノルディック競技大会の開催内容変更について

渡辺：クロスカントリーの札幌WCについては国内大会として実施する予定です。現状では札幌市がコロナ対応で動けない状況にあります。1か国でも呼んでアジアカップに出来るように考えています。(ポイントレースになるので)

大日方：アルペンWCはアジアカップやWPASクラスの大会として開催を計画しています。選手はスーパーGの大会を希望していますが、国内では難しくGSとSLを開催してポイントを取れるように考えています。IDの選手も参加出来るようにしたい。

日程は、菅平で3/2~3/5、野沢で4/12~4/15でそれぞれGSとSLを2レースの予定で調整中です。

(4) 今シーズンの普及事業の計画の変更について

安藤：コロナの影響で事業計画に変更がありましたので報告します。

1/3~1/5に予定していた体験会と1/9~1/10に予定していた旭川のクロスカントリースキー大会と講習会は中止にしました。スノーボードのサポーターズカップは2/7に日程を変更して1日での開催にしました。2/26から開催予定の障害者普及講習会(チェアスキー大会)は開催の可否を検討中です。

(5) 適合性審査について

石丸：10月28日に日本障がい者スポーツ協会に審査書類を提出したことと、12月1日に行われたヒアリングの結果について報告した。連盟の年度末の7月をめどに管理本部が中心になり中長期計画やガバナンス体制、規程類の整備を行っていくことを報告した。

【その他】

- * 石丸：事務局の年末年始の休業期間について、12/26～1/4の間は事務局はクローズにすることをお知らせした。
- * 荒井：札幌スノーフェスタは、雪まつりが開催されないことに伴い大通公園では実施せず場所を替えてスプリントレースを行う予定です。
- * 小林深雪：連盟のHPが視覚障害者向けに出来ていないので、視覚障害者向けのページがあると良いと思います。交通費について介助者の費用も対象となるように要望します。

議長：以上で全ての審議・報告等の議事が終了したので閉会します。

2020年12月19日

議事録署名人

議 長 椎 名 茂

議事録署名人 古 市 隆 一

議事録署名人 隅 野 礼 雄